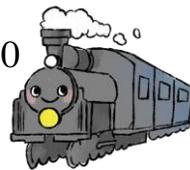


第2回 日本公認心理師学会学術集会 山口大会 対面ワークショップ

参加対象：日本公認心理師協会または山口県公認心理師協会の会員

日程：2022年12月17日(土)および12月18日(日) いずれも10:00~16:00

場所：KDDI維新ホール(JR新幹線「新山口駅」から徒歩1分)



【ワークショップ1】12月17日(土)開催
初回面接における心理学的アセスメント
-精神分析的アプローチによる見立て-
講師：浦田英範(西南学院大学)

【概要】

初回面接には、導入面接、診断面接などいろいろな呼び方がある。クライアントにとって、この初回面接は、すでに心理療法の始まりであり、不安と期待が入り交じったものである。セラピストとクライアントの関係は、心理療法という特殊な人間関係であり、見知らぬ者同士の出会いである。

今回は、精神分析的な理解に基づいた無意識を含めた心の動き(精神力動)を理解し、クライアントとの関係を樹立してアセスメントを行い、心理学的支援に結びつける基礎知識やその考え方を解説したい。ワークショップの後半では、実際の事例に基づいて検討したいと思う。受講者の中から初回面接のみの事例を募集する。



【ワークショップ3】12月18日(日)開催
臨床現場で役立つ対人援助者の
コミュニケーションスキル
-対人援助の作法をお稽古しよう！-
講師：竹田伸也(鳥取大学)

【概要】

公認心理師としてクライアントの心理支援を行うには、相手と信頼関係を築く力、相手を不快にさせず質問する力、相手に伝わる言葉で伝える力などのコミュニケーションスキルが求められます。また、支援を真に機能させるには、コミュニケーションを通して相手の持つ力を引き出すスキルも求められます。そして何よりも、支援者として大切にしたい価値が、こうしたコミュニケーションスキルを駆動する力となります。心理支援を行うためのこうした基本的な力を、今回のワークショップで体験を通して深めてみましょう。

テキスト：『対人援助の作法-誰かの力になりたいあなたに必要なコミュニケーションスキル』(中央法規)

【ワークショップ2】12月17日(土)開催
スクールカウンセラーが行う
学校現場でのアセスメント
講師：高田晃(宇部フロンティア大学)

【概要】

1995年にスクールカウンセラー(以下、SC)が全国に派遣されてから4半世紀になります。当初は不登校やいじめへの対応が中心でしたが、昨今では暴力、性被害、貧困・ヤングケアラー、自然災害・事件事故後の援助活動、自殺予防等、多様化した問題への対応や支援が期待されています。これらの支援を効果的に実践するためには、児童生徒だけではなく、家族やクラス、学校や地域も含めたアセスメントが重要となります。

本ワークショップでは、学校現場で行うアセスメントについてレクチャーの後、事例をもとにグループで話し合い、全てのSC活動に欠かせないアセスメントについて議論を深めていきたいと考えています。SCの方だけでなく未経験者の参加もお待ちしております。

【ワークショップ4】12月18日(日)開催
教育現場の危機において
真のサポーターになるために
講師：増田健太郎(九州大学大学院)

【概要】

不登校児童生徒の増加、いじめ問題、発達障害児童生徒への対応、教師のストレス・多忙化の問題など教育現場で臨床心理学を必要とする課題は山積です。また今回の新型コロナウイルス感染症は、学校現場の課題解決をさらに複雑化させています。

今、現場の公認心理師には、「ニーズを把握・理解し、的確にこたえていく」力が求められています。学校現場のチームの一員として、組織風土の改善に対応することが求められているのです。

今回の研修会では、学校現場の問題を整理し、不登校・いじめや発達障害児童生徒の問題、公認心理師としてどのような対応が必要なのか、学級経営・学校経営にどのようにコミットしていくのかを共に考えたいと思います。

*本研修は、日本公認心理師協会「認定専門公認心理師」の認定にかかるテーマ別研修として登録されています。

*本研修は、臨床心理士の資格更新に関する研修機会(4群ポイント:リアル対面方式)として申請予定です。



←第2回山口大会ホームページ
対面ワークショップへのお申込みは、第2回
日本公認心理師学会学術集会 山口大会の
ホームページからどうぞ。

主催：一般社団法人 日本公認心理師協会
山口県公認心理師協会

後援：法務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省
山口県・山口県教育委員会・山口県医師会

